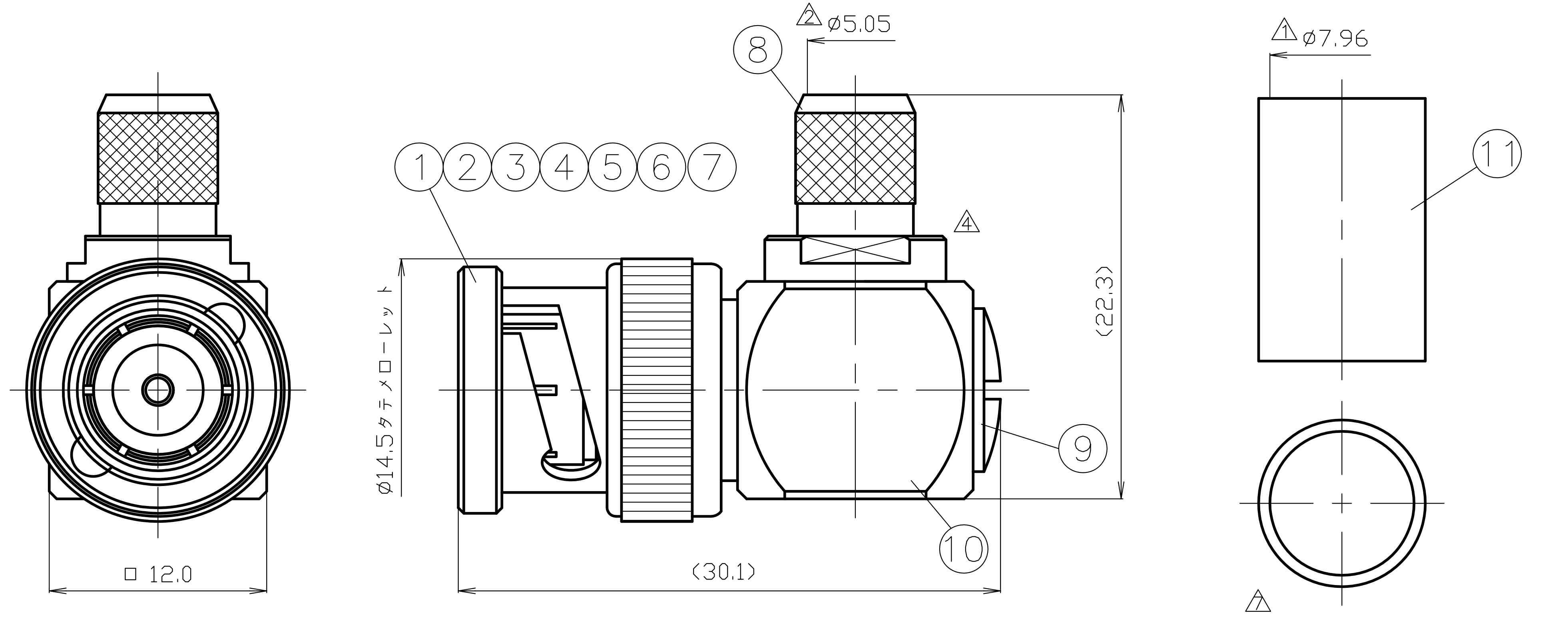
番号	変更・記事	日付	確認	番号	変更・記事	日付	確認
6	外観図面化	2016.06.28	済	1	寸法変更 Ø7.8 → Ø7.96	2002.03.28	済
7	RoHS表記 追記	2016.06.28	済	2	寸法変更 Ø5.3 → Ø5.05	2002.03.28	済
8	材質変更「ベリリウム銅」→「鉄」	2016.08.02	山本	3	図番変更 Y-0350954 → Y-03126	2002.03.28	済
9				4	横棒 変更	2003.01.10	済
10				5	社名変更	2012.01.17	済



RoHS Compliant Cd ≦75ppm

REMARKS	BRASS:Cd ≦75ppm PHOSPHOR BRONZE:Pb <4wt%

番号	部品名	材質	数量	処理	備考
11	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni	
10	シェル	黄銅	1	Ni	
9	裏蓋	黄銅	1	Ni	
8	横棒	黄銅	1	Ni	
7	ワッシャー	黄銅	1	Ni	
6	ウェーブワッシャー	鉄 (8)	2	Ni	
5	半円平ワッシャー	黄銅	2	Ni	
4	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
3	絶縁体	テフロン	1	--	
2	接続スリーブ	黄銅	1	Ni	
1	中心コンタクト	黄銅	1	Au	

製図	検図	承認	確認
渡邉 '16.08.02 直弘	檜 '16.08.02 澤	山 '16.08.02 本	三 '16.08.02 村

尺度 3/1

単位 mm

日付 98.12.04

投影法

株式会社トーコネ TO-CONNE CO.,LTD.

品名 BNC-LP-5A

図番 (3) Y-03126

GKQM-26-2

仕　様　書

品　名 BNC-LP-5A

No.　0350693

図　番 Y-03126

株式会社トーコネ

定　格 1 参考規格　JIS C 5412
2 定格電圧　AC　500V
3 定格周波数　4 GHz
4 公称インピーダンス　50Ω

確　認	検　印	作　成
山 12.01.17 本	檜 12.01.17 澤	山 12.01.17 口

		項　目	条　件	規　格
1	構造形状	構造及び形状寸法	添付図に示す	
2		材　質	(図番　Y-03126)	異常のないこと
3		仕上げ及び表示		
4	電気的特性	絶縁抵抗	DC　500V	1000MΩ以上
5		耐電圧	AC　1500V　1分間	異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
7				
8	機械的特性	互換性	規格に準ずるコネクターと結合したとき	異常なく結合すること
9		ケーブル接続強度	軸方向引張力　約147N以上	異常のないこと
10				
11		結合部接続強度	軸方向引張力245Nを加えたとき	接続スリーブに異常のないこと

GKQM-19-1

	変更履歴	日　付
1	社名変更	2012.01.17
2		
3		

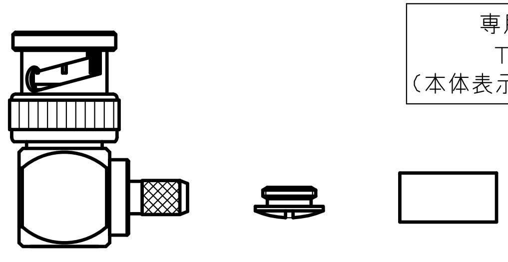
BNC-LP-5A 取付仕様書

図　番　Y-03126

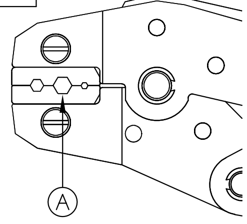
株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

作　成	確　認
檜 '12,11,29 澤	山 '12,11,29 本

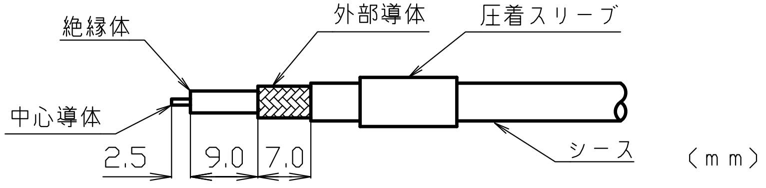
部品構成



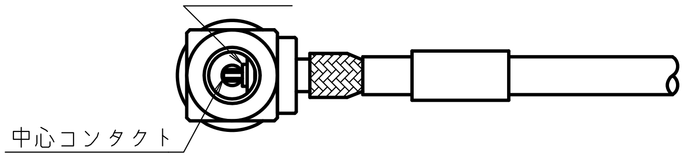
専用圧着工具
TA－35
（本体表示：53-8242）



番号	変更・記事	日付
1	社名変更	2012.01.17
2	TA-35　ご使用上の注意参照　追記	2012.11.29
3		

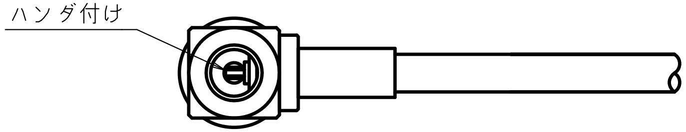


1　同軸ケーブルへ圧着リングを通しシース、絶縁体、外部導体を図中の寸法で切り取る。外部導体は、後にシェルを取り付けやすくするため外側に広げておく。

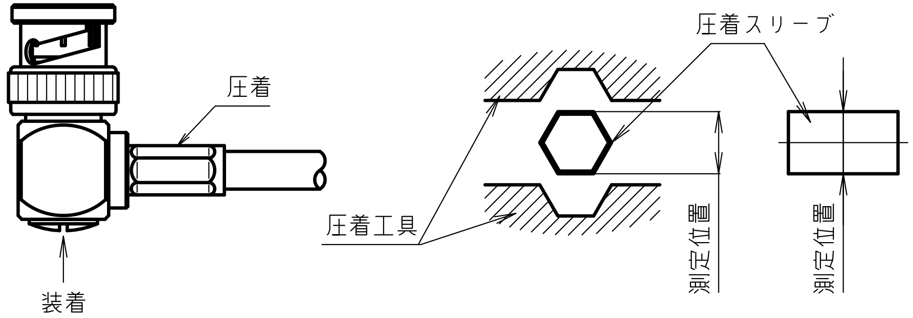


2　シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に入るように装着する。

この時中心導体が中心コンタクトの溝に収まるよう挿入し、絶縁体が中心コンタクトに当たるところまで入れる。

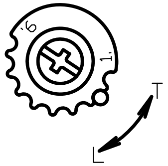


3　中心コンタクトと中心導体に対してハンダ付けを行う。
注意　ハンダが中心コンタクトよりもり上らない様につけること。
絶縁体が溶けないようにハンダ付けを行うこと。
装着後、同軸を引張り抜けないか確認すること。



4　圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して裏ブタを装着し作業を完了する。
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

強度調節ダイヤル



測定位置でのクリンプハイト8.35～8.50mm

◆TA-35をご使用の場合は、別紙「TA-35圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。

GKQM-25-1

TA-35圧着工具　ご使用上の注意

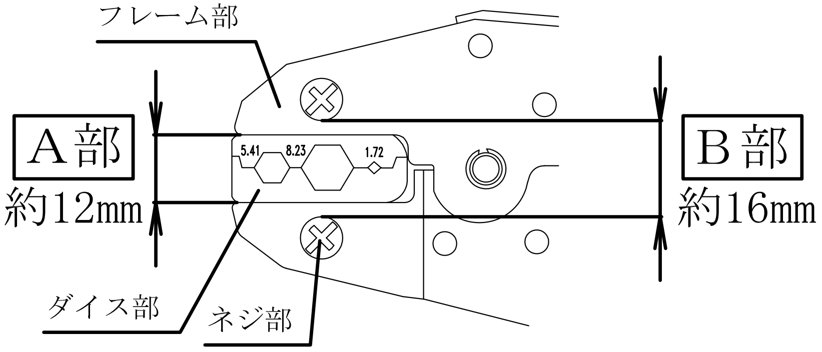
（本体表示：53-8242）

株式会社トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

作　成	確　認
山 '12,11,14 本	檜 '12,11,14 澤

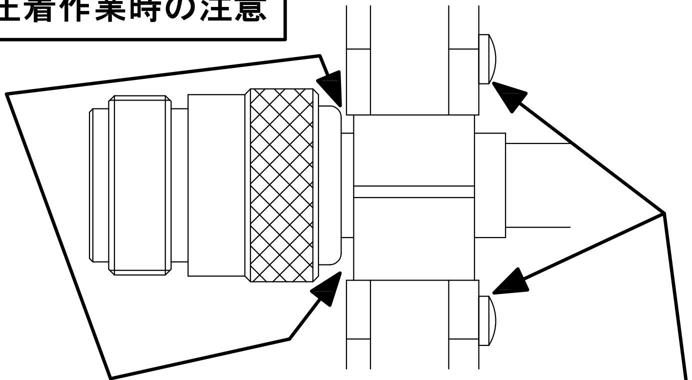
◆TA-35圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。
コネクターの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクターにキズがつく場合があります。

A部　ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクターの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクターは接触しないよう注意が必要です。



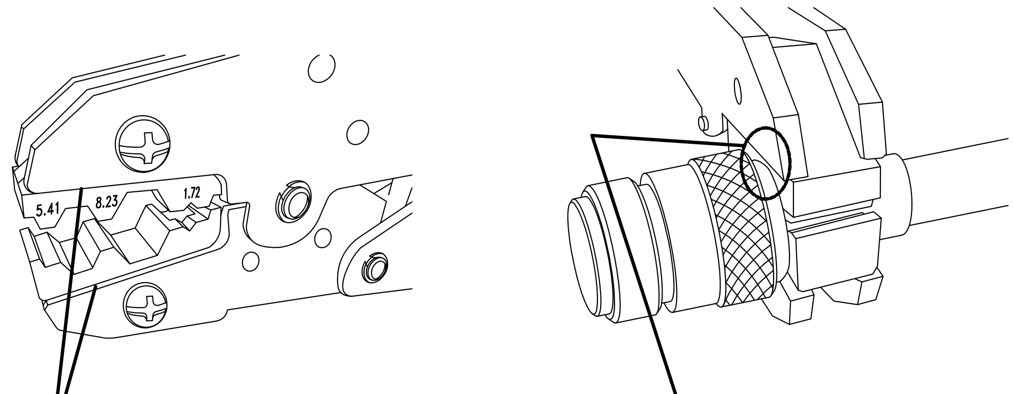
B部　圧着部付近が１６ｍｍを超えるコネクターは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。

圧着作業時の注意

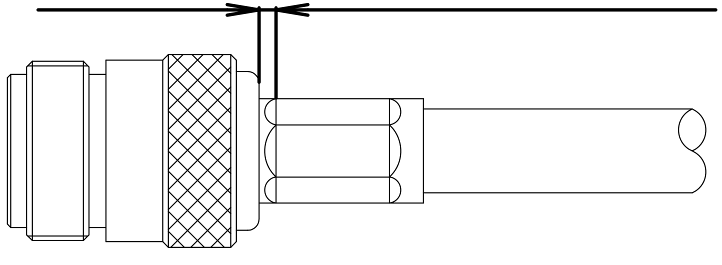


① フレーム部に当たらないように
ダイスとの隙間に注意 ※注１

② ネジ部に当らないように注意



フレーム部は両面共に注意すること

※注１

仕上がり状態で、下記範囲が１．５ｍｍ以下になるように作業をおこなってください。